

鶴岡地域振興計画

(第2次総合計画 「7地域の振興」(1)鶴岡地域 再掲)

鶴岡地域は、城下町の歴史を背景に、藩校致道館から受けつぐ向学の気風のもと、時代や社会情勢の変化に真剣に向き合い、400年にもわたる先人たちの努力がさまざまな分野において積み重ねられてきた地域です。

また、全国的に暮らしが均質化するなかで、豊かな自然環境のもと、天神祭や大山犬祭りなど多彩で貴重な伝統文化や生活文化が、鶴岡地域固有の特性として引き継がれてきました。

これまで鶴岡地域では、社会情勢の変化を捉えて、全国に先駆け住民の自主的なコミュニティ活動の拠点づくりを進め、平野部から中山間部、海岸部にわたる多様で豊かな環境のもと、特色ある地域づくりを押し進めてきました。

このような地域の優れた特性を次世代に継承し、誇りと愛着を持って暮らしていけるまちを創るため、市民によるコミュニティ活動のさらなる推進とその担い手の育成をめざし、鶴岡地域にとどまらず市全体の地域振興の方向性として、「まちづくり」、「ひとづくり」の取組を進めます。

ア 未来を見すえた住民主体のまちづくりの推進

○施策の方向

住民が主体となった「地域ビジョン」の策定を支援し、多様で複雑な課題を持つ市街地部及び郊外地部それぞれの地域の実情に対応しながら、地域の特性を最大限に発揮できるような課題解決力のあるコミュニティの構築に努めます。

また、鶴岡地域が、城下町としての面影や歴史的風情を保ちつつ、医療、福祉、商業、学術などの都市機能が集積され、地域の活力を維持する中心的な役割を果たすなかで、人が集まりやすい立地の特性を生かし、様々な人々が集い交わる場を創ります。

こうした、多様な交流から新たな価値を生み出し、地域を元気にしていく芽を育て、未来を見すえた住民主体のまちづくりを推進します。

○主な施策

- ① 福祉や環境、生涯学習など住民生活の全般に関わるコミュニティ活動の中核である広域コミュニティ組織の育成、支援を行い、活動基盤の強化を図ります。また、地域課題を住民が共有し、その解決に継続して取り組める体制を整え、地域ビジョンの策定及びビジョンに基づく実践活動を支援します。

さらに、地域の自立的な取組に継続的に関わってくれる地域外の人材、いわゆる関係人口を掘り起こしながら、課題解決力のあるコミュニティの構築を進めます。

- ② 地域の未来を見すえ、地域まちづくり未来事業などにより、広域コミュニティ

組織などの住民が主体となって取り組む地域の特性を生かしたプロジェクトを支援します。

- ③ 職業や業種などが異なる多様な者同士が集い新たな関係づくりを促進する場を創出し、交流の中から地域の活力につながる新たな市民活動や地域活動を生み出します。

イ 地域の明日を担う人材の確保・育成

○施策の方向

地域がその特性を踏まえて自ら考え、地域づくりに取り組んでいけるよう、若者がいきいきと活躍できる環境を整え、多様な学びの場を創出します。

また、自然、歴史、文化など特色ある地域資源を活用した地域づくり活動を支援し、地域の明日を担う人材の育成を図ります。

○主な施策

- ① 若者の力を地域づくりに生かすため、鶴岡まちづくり塾など、学生や若い世代から地域づくり活動に参画してもらう仕組みや活躍できる機会を創出し、未来に向けた人材育成と業種の垣根を越えた同世代の交流、連携を促進します。また、県とも連携して、任期を終え本市に定住している地域おこし協力隊の隊員の組織化を図り、これまで地域づくりの最前線で培ったノウハウを生かして活躍できる仕組みづくりに取り組みます。
- ② 鶴岡致道大学など専門分野の学問や知見に接することで、未来への創造性や感性を養い、地域づくりに必要な考え方や視点について学ぶ場を提供します。また、身近な地域づくり活動の事例発表会などを開催し、交流や意見交換を通じてお互いの活動に対する理解を深め、実践へとつながる学び合いを促進します。
- ③ 様々な主体が参画する地域づくりを実現するため、これまでの各種まちづくり支援制度を市民目線で見直しながら自発的な地域づくり活動を支援し、協働のまちづくりを通じて地域の明日を担う人材の育成を図ります。